

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	S.I.C.KIDS安城		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 1日		～ 2024年 12月 29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2024年 10月 1日		～ 2024年 11月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用児が楽しんで自主的に通えるようにしている。	・利用児の気持ちを真摯に受け止めながら、「楽しい」と思ってもらえることに重点を置いて支援している。	・子ども一人ひとりに対してより理解を深められるように、支援方法の検討や聞き取り、関係者との情報交換を積極的に行っていく。
2	・個別支援に特化した運動療育を提供し、一人ひとりが自分のペースで取り組めるようにしている。	・個々の課題や能力、成長に合わせてプログラムを作成し、様々なことに挑戦しながら、できた体験を重ねて自信がついていけるようにしている。	・支援の中で気付いたことを細かく記録に残し、保護者様や関係機関との連携をしながら、個々に合った支援を提供できるようにしていく。
3	・風通しの良い職場作りをし、意見や問題点を言しやすいようにしている。	・朝礼や終礼時、その他に気になったことを積極的に発信を合い、問題点をそのままにせず、検討を重ねた上で改善を行っている。	・開所からもうすぐ2年経つが、まだ工夫する点や問題点があるため今後も全職員で話し合いながらより良いサービスを提供できる事業所としていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・お子様に対して支援の様子を保護者様に見ていただく機会が設けられていないこと。	・子育てサポート加算に対する認知不足や利用までのプロセスがきちんと確立されていない。	・ご利用者様に、子育てサポート加算ご利用についての認知や、ご利用までのプロセスをより明確にし、日常生活へのフィードバックをさせていただく。
2	・福祉事業経験者が少ないため、専門的な知識が乏しいこと。	・勤務時間の多くがサービス提供時間のため、なかなか情報収集や研修への参加等の時間が設けられていない。	・スーパーバイザーからの指導や研修への参加を積極的に取り入れることで、知識や経験を深め、より専門的なサービスができるようにしていく。
3	・利用者様を事業所やご自宅まで送迎を行うことができないこと。	・1対1での個別支援を行っていることや保護者様へのフィードバックを行うため、送迎を行うことができない。	・送迎ができないことは保護者様にはご理解いただけるように、事業所としての取り組みやねらいを丁寧に伝えし、ご理解いただいた上でご利用をしていただけるようにしていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 S.I.C.KIDS安城

公表日 7年1月30日

利用児童数 : 令和6年12月29日 19名

回収数 : 15名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14			1	・色々な道具があり充実していると思った。 ・安心して体を動かしたりすることができるスペースがあると思います。	・支援室は十分なスペースを確保しているためご利用者が安心して身体を動かせる環境作りを今後も行ってまいります。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	15					・基準人員以上の配置ができています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	3			1	・中までバリアフリーになっているかどうか見ていなかったのでどちらともいえないにしました。	・必要に応じて改善していきます。ご意見やご要望がございましたら遠慮なくお話しください。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15					・いつもとても綺麗に整っているイメージです。	・毎朝と支援時間終了後に消毒と清掃を行い、清潔で安全に過ごせるようにしております。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15				・心が不安定な時もその時の本人に合った対応をして頂いていると思います。 ・こどもによりそった声掛けをして下さっていると思います。	・お子様の気持ちや、やりたいことも大切にしながら、できた喜びや達成感を感じてもらえるようにすることを心掛けています。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14				1		・支援プログラムについてはインターネット上に公表させていただいております。ご不明な点がございましたらお気軽にお尋ねください。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15					・分かりやすく書かれていました。	・保護者様やお子様からお話を聞かせていただき、サービス等利用計画書を土台として計画の作成を行っています。また、作成時には全職員で計画を検討する時間を設けています。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14				1		・家族支援や移行支援でまだ体制が整っていないところもあるため、試行錯誤しながら体制を整えていき、より良い支援ができるようにしていきたいと思っています。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14				1		・支援計画を元にプログラムを作成しながら支援をさせていただいています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	2			1	・当日した内容を教えて頂いているか固定化されているかどうかまでは分からない。 ・いつも色々な事をして下さるので体を動かす事が苦手だった息子も楽しいようです。	・計画書を基に、その時や今後に向けて何が必要かを検討しながらプログラムを作成しています。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3	2	1	9		・なくてもかまわない。 ・通い始めたばかりでまだ分からない。	・交流する機会は設けていることができおりません。イベントなどで交流する機会を設けることができるか検討をしていきたいと思っています。
保 護	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15					・主にご契約時に説明をさせていただいております。その他、不明点や質問への対応は適宜行わせていただきます。	
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15					・計画の作成後、別室にて支援計画の目標やねらい、支援のポイントを説明させていただいております。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15					・当事業所では保護者同士での繋がりを持っていただけるように、座談会の開催を主にしています。今後は保護者様にニーズを聞きながら、セミナーなどの開催も企画していきます。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	14				1		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13				2	・教室に行けないため。	・よりご相談していただきやすい体制を整えていく必要があると思います。 ・ご家庭でもできる支援方法等をご提案させていただきます。

者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12			1	・いつも明るく接して下さるので息子のごことを受け入れてもらえているのだと嬉しいです。	・聞き取りをした内容を支援の中に活かしていけるようにしていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	13	1		1		・保護者様同士でお話ができる場として座談会を開催しております。悩みやこれからのことについて一人で悩まず、共有をしながら少しでも解消できるようにしています。兄弟向けのイベントは開催ができていないため、今後検討していきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	1				・ご相談に対する迅速な対応ができるように、体制を整えてまいりたいと思います。対応できない日や時間帯もありますが、利用日以外でもご相談することも可能なため、お気軽にお声掛けいただければと思います。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	1				・活動などをLINEで送って頂きとても見やすく気づきやすいです。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15					・鍵付きの書庫に保管し、十分注意しています。鍵のかけ忘れがないかも日常的にチェックしております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15					・マニュアルは、待合室の靴箱の上に常時設置しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14			1	・職員の方で避難訓練をされたとききました。	・避難訓練は職員のみのお子様も交えた訓練をさせていただいております。また安全対策訓練や感染症対策訓練を、年1回以上取り組んでいます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15					・訓練を実施する際には、事前に詳細を配信しております。 ・複数名の子どもが近すぎないように、職員間で活動する場所を事前に決め、安全面に注意しています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	1			2	・まだそういう事になったことはないが説明して頂けると思っている。 ・レッスン中に転んだ際も説明やしっかり処置、対応をして頂けました。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15				・息子はいつも嬉しそうに入っていくので安心しています。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15				・とても楽しみにしてくれています。 ・保育園で他の楽しそうなことが目に入ってもS.I.C.KIDS行くよ！で気持ちが切りかわるほど楽しみにしています。	・今後も行くのが楽しみだな、行きたいなど思ってもらえるような活動や支援を行ってまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	1			・いつも次男にも声をかけて下さりありがとうございます。 ・相談の場をもうけたい。数回のうちで成長がみられる。	・お子様の成長を共に共感しながらご満足していただけるよう、今後も研鑽してまいります。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	S.I.C.KIDS安城	公表日	7年 1月 30日
------	--------------	-----	-----------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・活動内容や人数に応じて、ご利用者様が安全に活動できるように、配慮しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・ご利用者様1人に対して、1人以上の指導員を配置して個別支援を行っています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・移動範囲に障害物が無いようにしています。子どもにも分かりやすいように、表示を行い、必要に応じて設備を整えています。	・トイレ前に段差があるが、構造上段差をなくすることは難しい。必要に応じて踏み台の設置を検討します。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・移動範囲に障害物が無いようにしています。子どもにも分かりやすいように表示を行い、必要に応じて設備を整えています。	・常に清潔な空間になるよう清掃や消毒をこれからも行っていきます。子どもの特性に合わせた環境作りを心掛けてまいります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・活動に合わせて個別に使用することができるようにしています。	・子どもの特性や情緒に合わせた場所の利用をしていきたいと思っています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・定期的に業務改善に必要な職員会議や、毎日の朝礼、終礼により、全職員への情報共有を徹底しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・年に一回、利用者様からの評価表をしていただく機会を設けています。ご利用者様からの評価、意見を基により良い事業所を目指して、業務の改善を努めてまいります。	・ご利用者様のニーズにお応えできるよう定期的な聞き取りを行い、業務改善を進めさせていただきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・毎日の朝礼・終礼にて意見交換を行い、記録アプリを使い、情報共有をしながら様々な意見を交わし業務改善につなげています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・第三者評価は実施していません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・社内、外部研修に参加しています。定期的に行い、職員の質の向上に努めてまいります。	・専門的な知識の獲得やスキルアップに繋がるよう内部・外部研修への参加を積極的に行っていききたいと思います。
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・児童発達支援計画に沿って、支援プログラムを作成しています。利用者様には支援中や支援後に内容をお伝えしています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・利用前にはアセスメントを行い、子どもの課題を職員間で検討した上で個別支援計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・児童発達支援管理責任者と児童指導員で個別支援計画会議を行い、目標や支援内容について共通理解を図りながら作成しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・職員全員で計画内容を共有し、計画に沿った支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・標準化されたアセスメントシートを利用して、保護者様からのアセスメントを行っています。	・フォーマットは適宜改善していきながら、より良いフォーマットになるようにしてまいります。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・児童発達支援ガイドラインに沿って個別支援計画を作成しています。	・まだ体制が整っていない部分もあるため、本人支援だけでなく、関係機関や地域との連携を踏まえた支援ができるように改善していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・管理者と職員で支援会議を行い、支援プログラムを作成しています。	

提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・支援経過記録を作成し、過去の内容を確認した上で活動プログラムを作成しています。また、ご利用者様の日々の様子も見ながらプログラムを提案しています。	・新しいプログラムの提案をしていながらプログラムの開発を行っています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・集団活動は行っていませんが、お子様が必要としている力をつける為に、個別活動に重点をおいた支援計画を作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・就業開始前に朝礼を行い、支援内容の確認や情報共有をして業務を開始しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・就業終了前に終礼を行い、その日に行われた支援を振り返り、問題点や改善点がないかを報告をしています。ヒヤリハットや事故報告などは記録に残し、改善案を職員会議で決めています。	・支援の中で気になったことや、出来事を細めに伝え合いながら、継続した支援を行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・支援実施後に支援経過記録を記入しています。支援経過記録は個別のファイルにまとめ、支援の向上資料として使用しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・支援の様子を見ながら支援計画の見直しが必要かどうかを利用者様と相談して判断しています。	・半年に一回以上のモニタリングを行っています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・児童発達支援管理責任者が出席しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・まだ体制を整えられていないため今後連携した支援を行えるように整えてまいります。	・保護者様のニーズに添って、どういったタイミングや方法で連携をとっていくのかを検討していきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・保育所等との情報共有をする機会がもてないため保護者様のニーズに応じて、今後体制を整えて取り組めるように努めてまいります。	・施設、事業所によって、子どもの姿も変わることがあるため、どのような姿や行動、他児との関わりをしているのかなど、保護者様のニーズに添って、情報共有をする場を設けていきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・小学校等との情報共有をする機会を設け、よりスムーズに就学への移行ができるように支援させていただきます。	・通常級、支援級どちらにしようか悩まれる保護者様も多いため、様々な情報を元に判断判断しけるように、保護者様のニーズに添って、情報共有をしていきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			-	-
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			-	-
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。			-	-
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		・招集の都度、可能な限り参加しています。研修などにも参加し、支援の質の向上に努めてまいります。	・保護者様のニーズに添って、連携を図らせていただきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		・保育所等と交流する機会がまだないため、事業所でもイベントを企画し開催できたらと考えています。	・保護者様のニーズに添って、連携を図らせていただきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・支援終了後に、指導員から支援内容やお子様の様子等を保護者様にお伝えし、保護者様からはご家庭や保育園等での様子をお聞きし、情報交換をしています。伺った内容は職員間で共有しています。	・子どもの状況を伝える際に言葉だけでは分かりにくい部分があるため、より分かりやすくお伝えできるよう改善していきます。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・保護者様も参加できる研修や、イベントを公式LINEやSNS等を使い情報提供を行っています。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に説明をさせていただいています。日本語が分かりづらい方にも翻訳ツール等を使用し、分かりやすさを意識して行っています。	・初めてご利用される方にも分かりやすいように、丁寧な説明をこれから心掛けてまいります。	

保 護 者 へ の 説 明 等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・定期的なアセスメントやモニタリングなどを通して、利用者様の意向等を確認しております。いただいた情報は職員間で共有し、個別支援計画やプログラムに反映しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・利用者様には、児童発達支援計画についての説明を必ず行い、同意を得てから利用を開始しています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・保護者様から相談があった際には、迅速に対応しています。相談内容は職員間で共有しています。職員からも保護者様へ積極的に声を掛け、情報交換を行ってまいります。	・明確に相談支援の時間を設けるといった体制になっていないため、保護者様が相談しやすい場を設けられるようにしていきます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・兄弟同士での交流する機会はまだ設けていませんが、保護者様が参加する座談会を開催しています。多くの方が参加しやすいように託児をしたり、定期開催をしております。	・現在保護者様が集まる場として、座談会を設けさせていただいております。同じような内容だけではなく、様々なイベントを企画し、交流できる場作りをしています。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・苦情があった際には管理者が窓口となり、迅速に対応していきます。内容は職員間で共有しています。信頼の回復につながるよう、誠心誠意対応していきます。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・公式ラインやインスタグラム等のSNSで発信しています。定期的に発信を利用者様への情報提供に努めてまいります。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・書類は鍵付きの書庫に保管しています。書類は担当者会議を除き、事業所外へは持ち出さないようにしています。使用後は施錠を徹底しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・文字だけで分かりづらい時は、絵カードや写真を用いて行っています。日本語が分かりづらい方には、翻訳アプリ等を用いて齟齬がないように工夫しています。	・専門用語を使わずに、分かりやすい言葉でお伝えしています。
非 常 時 等 の 対 応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	・実績がありません。今後利用者様の意見を取り入れながら地域に根ざした事業運営に努めてまいります。	・利用者様のニーズに合わせて検討してきます。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・各マニュアルを策定し、マニュアルに応じた動きを想定した訓練を適宜行っています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・業務継続計画を策定し、避難訓練や防災訓練等を適宜行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。			・利用開始前にアセスメントを行い、現在の服薬状況やてんかんの有無などを確認しています。必要に応じて対応方法を利用者様と協議しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。			・食事提供は行っていません。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画を作成し、職員間で研修や訓練を行っています。また定期的に教員の点検を行い、支援中に事故や怪我ないように努めています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○	・安全計画の取り組み内容については、利用者様への周知ができていないため、安全にご利用いただけるよう、周知を徹底してまいります。	・安全計画の内容についてご利用者様への周知が不足しています。子どもの安全確保、安全に対する意識を向上できるように周知を徹底してまいります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ヒヤリハットが発生した場合は報告書にまとめ職員間で共有しています。また他事業所での事例も共有し、安全対策に努めています。	・些細なことだと思わず、なぜそのようなことが起こったのかを事例検討をしていながら、問題点の改善をしています。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・虐待防止研修を定期的に行い、研修記録を残しています。虐待への知識を深め、未然に防げるように努めてまいります。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・契約時に保護者様に説明させていただいてます。必要に応じて個別支援計画書に記載し、保護者様に説明をした上でサインをいただいています。支援中に怪けに繋がる場合等、身体拘束が発生した場合は保護者様にご報告と記録を残しています。		